

1 学年通信 第16号 2020年3月6日

臨時休校期間の過ごし方について

みなさんこんにちは！どう過ごしていますか？学年団からみなさんへ学年通信のかたちでメッセージを伝えます。よく読んでください。

1 主任より3言

- 1 今こそ「自主自律」
- 2 今こそ「堅忍不拔」
- 3 今こそ「環境を整える」

2 教務より

今回の休校に伴い定期考査で受けることができなかった教科の評定は前回までのテストの点数とこれまで取り組みを総合的に評価して判断します。

3 学年進路より

○ 学習面

- ・国数英の既習事項の総復習に努める。特に、ここまでぎりぎりでなんとかしがみついていたものにとってはむしろチャンス。余裕のあるものは、既習事項の100%定着を目指す。
- ・学校の授業があろうとなかろうと、2学年の「0学期」であることに変わりはない。ここでのモチベーション維持が、2学年のスタートダッシュにつながる。

○ 生活面

- ・具体的な学習計画で、生活リズムを整える。たとえば、学校の授業時間と同じリズムで学習計画を立ててみる。なお、計画は具体的である方が望ましい。学習時間、学習内容をはっきりとさせてから学習に臨むべき。
- ・こんな時だからこそ「夢」をふくらませる。進路研究、進路目標の具体的設定など、日頃つい、いいかげんにしがちなことに取り組む。進路未定者は、この機会に学問研究の続きを行い、社会に目を向け、自分の興味関心と学問との接点を探るべき。
- ・大学（学部学科）研究においては、偏差値での比較のみならず、「大学ランキング」も参考になる。偏差値だけでは見えない各大学の「力」が見えてくるので、ぜひ参考にしてもらいたい。

4 各教科より

国語総合

○ 確認テストについて

- ・第4回定期考査で実施されなかった『古文単語330』『明説漢文』の範囲及び、『完全マスター古典文法』未提出範囲をもう一度学習しておく。
- ・新学期に入ってから確認テストの範囲を学習しておく。なお、新学期の確認テストの実施期日については、新学期の授業時に連絡をする。いつ実施されてもいように学習をしておくこと。

○ 休業中の学習について

- ・せっかく時間があるので、読書にチャレンジ。普段は手を出さないジャンルにもチャレンジ。
- ・古典文法のおさらい。助動詞が未完成の者はまずはそこから頑張る。全体的に敬語の定着が浅いので、重点的にやって欲しい。自学できないのであれば、市販の問題集で学習。
- ・漢文句法は全体的に達成度が低いので、『明説漢文』でもう一度学習し直し。
- ・何を学習するにしても、ただ眺めるだけではだめ。『完全マスター古典文法』の「確認問題」、『古文単語330』の「実践問題」、『明説漢文』の「問題演習」に真剣に取り組むこと。

数学

- ・この期間中に絶対にすべきことは、**苦手分野の復習**です。中でも「場合の数・確率」や「図形と方程式」の力が弱い傾向が見られます。4STEP や青チャート等を活用し、苦手分野の克服を図ってください。解けなかった問題を解けるようになるまで徹底して演習をすることがポイントです。
- ・配布した発展プリントの問題の 60 番～82 番(P17～P20)をやっておいてください。なお、4月の授業時にこの範囲の**確認のテストを行う**予定です。
- ・3月9日(月)に提出予定だった4STEP ノート(図形と方程式)は、4月の最初の授業で集めます。
- ・4月の授業は、発展プリントの残りをやった後、数学Bの「ベクトル」に入る予定です。余裕があれば、予習をしておきましょう。

英語

一年生で使った DUO や FACTBOOK などの教材を復習しましょう。ネットを使って海外のニュースサイトを見てリスニングや読解練習をするのもおすすめです。

世界史 A

- ・教科書を最後まで一通り読んでおくこと。
- ・2年で「文化研究」を履修する人は教科書と図説を使って復習しておくこと。
- ・定期試験前に配布した一問一答などを活用して復習しておくこと。

化学

まず、今回のテストのできなかったところを、教科書、ノートなどを参考に、解きなおしておきましょう。1～4回の定期考査をきちんと解けるかチェックするのが、一番効率的な勉強です。余力がある人は問題集をやりましょう。

生物

今回の考査の解きなおしと、教科書を最後まで一読する。生態系の分野は、生物のみならず教養として知っておきましょう。

※なお、春休みの課題については後日連絡します

再会を楽しみにしています!